



梅野よしみ 保育士

## ■大丈夫 大丈夫!

今年は、長谷山で雲の切れ間から初日の出を見て、「子どもたちが笑顔で過ごせますように」と手を合わせスタートしました。

以前「ひまわりのたね」に来ていた子どもたちが、年賀状の写真に写っている姿や、子どもたち自身が書いた文章から、成長した姿が伝わりました。あんなにママのそばを離れられなかったのに、この子の笑顔は以前と変わらないままでいいな〜等思いました。また、妊娠したのであそびに行きますとのうれしい知らせも。「ひまわりのたね」もぐんぐん成長しているようでみんなに元気をもらいました。

今年の2月に「ひまわりのたね」をコロナ感染対策のため、閉所した同じ時期に、ロシアのウクライナ侵略を報道で知り、心を痛めたことが忘れられません。だからこそ親子であるのでいる様子や、些細な事で笑い合える毎日が本当にありがたいと思えます。

この時期は、保育園に入園できるのだろうか、子育てに加えて仕事を始めるとどうなるのだろうか等々、お母さんたちは不安も増すようです。そしてその不安は子どもにも影響します。

### 子育て支援センター 「ひまわりのたね」

【開館】月～金曜日 9～16時

【場所】総合福祉センター  
「ひまわりの里」内

【対象】0歳から未就学の子どもとその保護者

※利用には保護者の付き添いが必要です

【利用料】無料



◀みんなであそぶことのしつよい!

寒い時期なので大変ですが、2月、3月は早寝早起きのリズムを整える準備期間にすることを勧めています。それには、身体を十分に動かしてあそぶことが大切です。そのあそぶ姿を見ていると、お母さんたちもきっと「大丈夫」と思えるはずですよ。一歩踏み出して、子どもとあそびに来てください。お待ちしております。